

式 辞

春の光が満ち溢れ、草花や鳥のさえずりにも生命の躍動を感じる素晴らしい季節です。

ここ数年続いたコロナ禍も、ようやく新たな局面に入り、希望の光が感じられる今日、保護者の皆様のご臨席をいただき、本日ここに、尼崎市立 尼崎双星高等学校 第十三回入学式を挙げていきますことは、私ども教職員にとって、本当に大きな喜びでございます。皆様に厚く御礼申し上げます。

また、ご多用の中、本校PTA会長様、同窓会長様には、ご来賓の代表としてご臨席を賜りました。誠にありがとうございます。

さて、先ほど入学を許可した、三五二名の皆さん、ご入学おめでとうでございます。今日から皆さんは、本校十三期生として三年間を過ごします。

皆さんをお迎えするこの尼崎双星高校は、平成二十三年に、尼崎市立尼崎産業高等学校と尼崎市立尼崎東高等学校の発展的統合により、開校した、古き良き伝統を受け継ぎながらも、新たな歴史を歩み始めた学校です。

尼崎市立高校には共通する目標があります。それは、「自ら考え、行動し、未来を拓く「人」を育てる」ということです。自らの責任で主体的に行動し、幸せな未来、社会を作り出していくことができる人になることが、皆さんの目標であり私たちの願いです。そして、本校の掲げている独自の目標は「社会とつながる専門性を高める学校」です。

「社会とつながる専門性」とは何か。それは、あなた方一人一人が、社会にとって必要な人材となるために、身につけていくべき能力、技能のことです。本校には、それを高めていくための全てが揃っています。普通科、商業学科、ものづくり機械科、電気情報科を併せ持ち、それぞれの夢、志に合わせて、生徒の能力を高く伸ばし、将来は各所で活躍する力を養うことができる、学びのシステム、施設設備、そしてそれを支える教員の努力と熱意がある学校です。

したがって、皆さんにとって、本校へ入学することが、人生の目的なのではありません。では、人生の目的とは何か。私は、過去に生きた全ての人々が苦勞して築き上げてきた、この人間社会を、今よりも少しでも良くしていくために貢献することだと思っています。それが、自分自身にとって幸せであり、自分を成長させることにつながり、次の世代をさらによいものにしていくことにつながるのだと思います。一言で表現するならば、「社会貢献」そして、その中での「自己実現」です。皆さんには、いずれは社会の様々なところで、世の中を牽引する人として、世の中を支える人として、光を放つ存

在になっていってほしいと思います。

そのために、皆さんに、この三年間、心にとどめておいてほしい三つのことを話します。

まず、日々きちんと学習に取り組み成長していってほしい、ということです。学び考えることによって皆さんは大きく成長していくのです。本校校歌の中に「学びとわざを磨き続けて」という一節があります。皆さんはこれから、しっかりと知識を蓄え、そして知恵や技術へと高めていかなければなりません。昨今の社会情勢を見てみると、感染症、地震などの自然災害、エネルギー・環境などの諸問題、武力紛争等、知識だけでは答えがみつからない難しい課題が山積しています。だからこそ、知識を身につけ考えること、課題を解決し新たな価値を創造する力が必要です。これが、将来の皆さんの使命だと思います。

第二は、部活動や学校行事、生徒会、委員会活動等に積極的に参加してほしい、ということです。勉強だけではなく、いろんなことに全力で取り組むことで、人間としての総合力が培われていきます。双星高校では、皆さんが思い切り打ち込み成長することのできる様々なステージを用意しています。皆さんは、可能性の塊です。自分のまだ知らない素晴らしい力をぜひ本校で発見してください。

そして第三は、これまで述べたことを実現するために、命と健康を大切にしてもらいたいということです。それは、あなたの周りの方々を大切にすることでもあります。そして、同じようにご家族や友人など周りの人を思いやり大切にしてほしいと思います。日々笑顔で元気に過ごすということは、これからの学校生活の土台となるものです。どうか、これから長く続く人生の礎でもある命、健康を、互いに大事にしあってもらいたいと思います。

さて、保護者の皆様。本日は誠におめでとうございます。皆様の大切なお子様を本校の生徒として、本日からお預かりいたします。私ども教職員一同、全力をあげて、お子様の育成に取り組む所存でございます。本校の教育にご理解とご協力を賜り、家庭と学校が連携して子供たちの成長を支援して参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

限りない可能性を持った皆さん、社会へと羽ばたくその日のために、志を持って、この尼崎双星高校で成長していきましょう。皆さんが、これから本校で充実した三年間を過ごし、日本へ、世界へ羽ばたいていかれることを祈念して、式辞とします

令和5年4月10日

尼崎市立尼崎双星高等学校 校長 長澤 広昭